

しばた あわせ ばとんた ゆみなく

発行

しばた正彦後援会
〒820-0602
九郎丸661-12
Tel 080-
4316-2581



桂川中 八重桜

桜は例年よりもさらに早く咲き、散つていきました。桂川町には、王塚古墳公園・寿命公園・ゆのうら体験の杜・清流公園など桜の名所が数々あります。これらをつないで桜祭りができないのでしょうか。

中学校の入学式の際には、八重桜が満開でした。

3月議会では、新年度予算が出されました。そのチェックと一般質問で、ハードな日々となりました。

一般質問について簡単にお知らせします。

1. 町長5期目の重点施策

桂川町のみなさんのお金をどのようなことに使うのか、それを表すのが予算です。井上町長5期目の最初

の予算です。新たな施策（とりくみ）が出てくるだろうと思っていました。が、予算を見る限り、新たなことは、ほとんどありません。そこで、町長5期目の重点施策はなんですか、とたずねました。



2. 文化の薫り高い心豊かなまちづくり

井上町長は「文化の薫り高い心豊かなまちづくり」とよく言われます。しかし、そんな町になっているのでしょうか。私自身は王塚古墳が好きですが、王塚古墳があるから、文化の薫りが高いんだ、とはならない。

町長に、「文化の薫り高い心豊かなまち」のイメージと「文化の薫り高い心豊かなまちづくり」のために行ってきたことをたずねました。

「これまでとりくんできた施策は全て関わりがあり、対象になると考えます」と答えられました。つまり、一つひとつのとりくみが、「文化の薫り高い心豊かなまちづくり」になっている、ということのようです。

わかるような？わからないような？

3. 移住定住施策

以前、移住定住政策について質問したことがありますが。そのときも、それに特化した施策をするのではなく、桂川町に来て住んでもらえるような日々のとりくみが大切である、と答えられました。

では、桂川町に人が来ないのはなぜ？

昨年、飯塚市・嘉麻市は、

あの手・この手の移住施策（当然、予算が必要です）を行っています。そのせいか両市とも移住者が多くなり、想定していた予算を超えたので、年度途中で予算を追加しました。

桂川町にも施策がありますが、飯塚市の移住奨励金や嘉麻市の応援交付金などに比べ、金額などが少なく、成果が充分に出ていません。

23年度の桂川町のとりくみをたずねました。**担当課長：幅広くアイデアを募り、多角的に研究するべく、新年度に庁内横断的なワーキンググループを設立したいと考えております。**この中で、より効果的かつ現実的で、充実した施策の形成を図って参りたいと考えております。

明らかなのは、桂川町が他市町村に比べ、とりくみが遅れていることです。私には「日々のとりくみを行

うことによし」とする状況とは思えません。

柴田：桂川町と同じような自治体で、成功している自治体に目を向け、徹底的に研究しましょう。

北川正恭さん（元三重県知事・現早稲田大学院名誉教授、マニフェストを提唱）は、よくTTPと言われます。

徹底（T）的に（T）パ

徹底的にパくる。中途半端じゃ失敗します。徹底的に調べ、桂川町に合ったものにする。それなら、私たちにできる。
能力が足りない分は、一緒に、他の自治体のとりくみに学びませんか。

4. 保育・教育

保育については、「議会だより」（5月2日発行）を「らんぐだより」。

延長保育事業と一時預かり保育事業については、字数の関係で「議会だより」

に書けませんでした。次の内容です。

延長保育事業：現在、保育時間は7時30分～18時30分ですが、7時15分～18時45分と延長します。町内私立保育園（善来寺保育園・吉隈保育園）で実施。詳しくは各園から。

一時預かり保育事業：在席の園児以外の保育希望があれば、8時30分～16時30分まで預かります。吉隈保育園で実施。詳細は広報等で。

最後に、「何度も申していますが、「子育てしやすい町」にすることが、一番の移住定住政策です」と言いました。

小中学校に対しては、今まで「30人学級」措置など町独自の施策が行われてきています。
23年度も継続していくというつもりです。

【県立嘉穂総合高校との連携】

桂川町には県立嘉穂総合高校があります。実は、桂川町は総合高校から多くのことをしてもらっています。
・動物見学・プログラム
・学習・野菜栽培などで小学生が訪問

・ふるさと応援寄付金の返礼品（お米とジャム・金属製はし置き・エコバック）
・「いいバイけいせん」へ出荷

また、総合高校の生徒さんが開発した「王塚装飾古墳ステンドグラスクッキー」50袋を王塚古墳館に届けたことが新聞に書かれています。

地元桂川町をもっと元気にしたい、古墳館にもっと来てもらいたいと思い、先輩が王塚装飾古墳をイメージしたスイーツを2018年度から開発して、来館者に渡してもらっており、今年で5度目となったそうです。

す。
では、桂川町はというと、ほとんど返せていない。次のように提起しました。

柴田：県立嘉穂総合高校には

- ・普通科総合コース（ライフデザイン系・ビジネス系）
- ・農業食品科（園芸動物専攻・食品科学専攻）
- ・工業科（機械専攻・電気専攻）
- ・情報科（プログラム専攻・マルチメディア専攻）

があり、多様な学習が行われています。
今以上に、連携を深めることで、桂川町に新しい産業や文化が生まれるのではないのでしょうか。

高校生のみなさんにとっでは、地域と関わる中で、新たな自分の存在価値を見出すことができるのではないでしょうか、そして、桂川町に対する愛着・シビックプライド（注）が生まれるのでは、と思われれます。

もっと、桂川町と嘉穂総合高校の連携を考えてただけたらと思えますが、町長はいかがお考えでしょうか。

（注）シビックプライド：地域を愛し、その地域をよりよくしていこう、地域に貢献していこうとするおもい

町長：学校のためにも、町のためにも、役立つようなとりくみをぜひしていただけたらと思います。

そのためには知恵が必要です。特徴のあるとりくみが必要ですので、今後の大きな課題だと思われれます。

柴田：どうしていいかを含めて、高校生と若い職員でプロジェクトをつくって、考えてほしいのです。
失敗してもいいと思えます。とりくむことが高校生にとっても、町にとっても財産になっていく。続けていくことで本当の財産となるのではと考えられます。



王塚古墳公園



5. 高齢者の「健幸」

柴田・健康だったら、意欲を持って生活できますし、地域貢献などにも関わっていただけます。

かつては、70歳になったら、町からお祝い金がありました。今は何もない。そこで、ささいな提案をします。

70歳になったら、体育館やグラウンドゴルフ場で使える利用券をプレゼントする。そこでは、出会いや会話が生まれます。ますます健幸になります。

高齢になられるみなさんの幸せと健康のために、ぜひ、検討いただきたいのですが、どうでしょうか。

町長・せひ、担当課を通じて協議していきたいと思えます。



6. 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

コロナ感染症対策地方創生臨時交付金事業について検証し公表するように、通達があつています。検証・公表をしたのか、たずねました。

検証はしたそうですが、公表はこれからということでした。



7. 桂川駅舎・観光案内所など

観光案内所の年間維持費・今後の活用、南口ができたことによる住民の困惑、待合室の設置・王塚古墳への案内などについてたずねました。

※ 詳しくは、桂川町のホームページをご覧ください。

☆小児・AYA世代がん患者在宅療養生活支援事業

昨年度、アピアランス事業が始まりました。がんになった方がウィッグ（かつら）を購入される場合に最大2万円を補助するものです。

本年度、小児・AYA世代がん患者在宅療養生活支援事業が始まります。

小児は0～14歳、AYA（アヤ）とは思春期・若年成人のことで、15～39歳です。新しい事業は、0～39歳のがんになった方への支援になります。

※ 詳しくは、健康福祉課へ



☆意見書・請願の採択

3月議会で、次の意見書・請願を採択しました。

1. 保育士の配置基準の見直しを求める意見書

現在の保育士の配置基準

年齢	保育士の必要人数
0歳児	子ども 3人に1人
1・2歳児	子ども 6人に1人
3・4歳児	子ども 20人に1人
5・6歳児	子ども 30人に1人

「安心して子どもを生み育てる質の高い保育の提供と保育の担い手の確保」のためには、現在の配置基準を見直す必要があります。国に見直しを図るように意見書を出しました。

文教厚生委員の大塚和佳議員が提出者、原中政廣議員・柴田が賛成者です。全員賛成で可決されました。

現在、政府が配置基準の見直しを言い始めましたが、私たちの意見書が政府を動かしたのでしょうか。

2. 桂川町において「子どもファーストの町づくり宣言」の発信とその施策の実施に関する請願

請願の理由：桂川町の人口減少対策と子どもたちが抱える困難に対処するとりくみとして、以下2点を請願します。

- (1) 「子どもファーストの町づくり宣言」の発信、
- (2) その施策として、
 - ① 「学校給食の段階的な無償化」
 - ② 「子ども食堂の支援」
 - ③ 「学校・保育所の給食の地産地消の推進」
 - ④ 「学校・保育所の給食のオーガニック化の推進」の策定と実施

全員賛成で可決されました。

1. の意見書は大塚和佳議員自らが考えられました。

2. の請願は町民が考えられ、竹本慶吉議員が紹介議員になられたものです。議員になって5年目ですが、このような意見書・請願は初めての経験です。まるで、議会みたいでした。



杜のうら体験

ホームページのアップ

10月末にホームページをつくってもらいました。ひと月に1回ぐらいしかアップできていません。しかし、いつの間にか600人を超えるアクセス数。今後、アップに努めます。

「桂川町議会議員 しばた正彦」と入れれば出てきます。

QRコードからも入れます。



あっち こっち どっち？

4月	4日	(火)	文教厚生委員会
	5日	(水)	広報委員会
	7日	(金)	嘉穂総合高校入学式
	10日	(月)	桂川中学校入学式
	11日	(火)	桂川小学校入学式
	12日	(水)	桂川幼稚園入園式
	13日	(木)	広報委員会
5月	21日	(金)	広報委員会
	26日	(水)	文教厚生委員会
	8日	(月)	文教厚生委員会
	11日	(木)	大木町視察

後援会員募集 年会費1,000円



後援会員のみなさんには、ひと月1回『月刊しあわせばとん』をお届けしています。

『月刊しあわせばとん』には、『後援会だより』には書きにくい趣味や日々のこと、本音などを書いていきます。 申し込みは柴田まで

080・4316・2581